No.	003	_	2001	事	務事業名	呂	市有施設	排出ご	み処理に	関する	事務	細	事務	事業	各				公的関与 2			
	課	名	財政	<b>文課</b>	課係		名管具		対係 <b>電</b>		話番	号	08	089-964-44		101 メールアドレス		zaisei@city	.toon.ehime.jp			
	事業	区分	)	ソフト	 フト事業		事業運営方法		一部委託		実	施計	·画 非認		当	事業期間	間	年度 ~	期間設定なし			
	総合	計画	政策目標	第5章	みんなで~	つくるま	協働・自立	のまち	政策項目	5 自 3	立した	1自治	台体経	と営の抄	<b></b> 進	主要加	施策 (1) 🛭	 自主性・自立性の高	い自治体運営の推進			
	事業	事業の対象市庁舎及			<b>す施設の</b> 抜	非出こ	゛み					根拠	法令									
	事業	の目的	最終的	市有が り、環: にしま	境衛生を	非出さ 保持[	れるごみを適切に処理することによ 、、施設管理に支障をきたさないよう				今年	∓度										
P	活動内		① 不燃	物月例改修に関する事務									機密	機密文書処理に関する事務								
LAN		内容	2 粗大ごみ回収に関する事務																			
			3 リサイ	イクル糸	氏類収集に	こ関す	たる事務															
	成果指標			指標	名		計算式又は指標設定理由							平成	30 年月	度 令和	元年度	专和 2 年	度 最終目標			
			不燃ごみ	排出量	<b>巨</b>		総排出量	ł				k g	目標	8	,000	8	3,000	8,000	8,000			
				<i>/</i> / M =								- 0	実績			14	4,640					
			粗大ごみ	排出量	Ţ		総排出量	ŧ				k g	目標		,000		ł,000	4,000	4,000			
													実績		3,170	_	,510					
			リサイク	ル紙類	排出量		総排出量	Ł				k g	目標	45,000			5,000	45,000	45,000			
	又位	 工費目	会計				般会計			費目	1 <i>D</i>		実績	58	5,050 財政		3,320	費				
	了另	7. 月. 日	五司		平成	30	年度沒	上笛	令和	東		 度決	笛	令和			要予算	<sup>頁</sup>				
	直接事業費		国・県支	出全	T 195.	30		)千円	ገን ጥ	76	-+-		千円		ъ 2	<del>-+</del> /:	0 千円		79			
			地方債			0 千円				0 千円			0 千円			-						
			その他特定財源			0 千円				0 千円			0 千円			-						
D O			一般財源				6,064 千円 5,069 千円 5,252 千					-										
			計(A)					6,064 千円 5,069									-					
	人件費(B) 全体事業費		正職員工数		0.087	人		3 千円	0.087	人			千円	0.0	 87 人		543 千円	-				
			臨時職員工数		0.000	<u> </u>		) 千円	0.000	- '			千円				0 千円	_				
					0.000			7 千円	0.000		5		千円		-			Ⅎ				
					総	合			5 h4L 4	<b>+</b> *					0 #4				TE 17 %# ++			
	一次評価者		管則	7徐	評句	<b></b> 点	Α	必要		有交		4	達凡			率性		後の方向性	現状維持 ——————			
	項目				部	<u> </u>		項	目	の	説		明	(— <u>}</u>	欠評価:	者のコ ———	メント)	)				
	必要怕	す。	可有施設で排出されたごみを適切に処理することは、施設の環境衛生維持において必要不可欠なことであり、今後も継続していく必要がありまっ。																			
CIL	有効性	生 事業	(自体に変化はありませんが、施設環境衛生を保持するために継続的に行うべき事業です。																			
ECK	達成原	<b>支</b> 各施語	施設の排出ごみは適切に処理されていますが、ごみの排出量を減らすことが出来ていない状況です。 																			
A C			よの排出量を減らすことで、処理費用の削減を図ります。また、リサイクル紙類については売却収入が見込めます。																			
T I O	課	り させて	*の分別、リサイクルへの職員の意識は改善されていますが、十分ではありません。今後も、環境配慮及びごみ処理にかかるコスト意言でいく必要があります。																			
N			こ文書等で :により処理		いる費用を	節約									環境へ	の配慮	を行う。ま	た、ごみの排し	出量自体を減ら			
	二次	評価者	財政	課長		合     点記	Α	必要	<b>達性</b> 4	有效	加性	4	達成	戊度	2 効	率性	4 今後	後の方向性	現状維持			
		次評価で 指摘事項	20	りため	別や減量には、環境										意識向	上のため	かの意識	啓発を継続的	に行うことが必要			

No.	003	3 —	20	2050 事務事業名				車両の管理に関する事務					細事	務事	業名					1	公的関与 1
	課	名		財政課	文課 (		4	各	管則	付係	電話	番号		089-	-964-4	401	メール	アドレス	zaisei@c	ty.to	on.ehime.jp
<b>ひしる</b> Z	事	業区分	P	<b>卜</b> 部管理事	理事務・その		ī i	事業運営	営方法	直営		実施	計通	E	該当	事	業期	間	年度	~	期間設定なし
	総	合計画	政策	策目標 第5章	章 みん	なでつ	くる協	<b>汤働•</b> 自立	のまち	政策項目	5 自立	した自	治伯	体経営	の推進	<u></u>	主要	<b>拖策</b> (1)	自主性・自立性の	高い自	治体運営の推進
	事業	の対象	市職	哉員が運転	するま	共用公,	用車	車の集中管理						艮拠法令							
	事業	の目的	] 最	<b>終的</b> 宏全 燃費	安全対策や修繕費等の経費削減のため、公用車の低 燃費且つ安全性の高い車に更新します。																
	活動内容		1	車両不整期点検を		よる事情	<b>立を</b> た	さくし、安	全走行	下を確保す	るため気	<b>4</b>	<b>)</b>	効率的	な車両	ĵ管理?	を行う。				
		動内容	2	車検·法分	定点検	の徹原	主。					(5)	) 4	公用バ	公用バスの効率的な管理を行う。						
			3	ドライブレ う。	ノコータ	ずを整備	備し、 	、安全運転に対する注意喚起を行													
	成果指標			指標名				計算式又は指標設定理由					位	平	成 30	年度	令和	元年	度 令和 2 年	∓度	最終目標
			事故	女件数						で起こした事故件		:   4	= -	目標	5			5	5		0
							3	奴 (過失	- 割合	「0」を除く。)			3	<b>実績</b>			9				
			ドラ	ライブレコ	一ダ記	设置率		共用公用 コーダ部		おけるドライブレ <sub>割</sub> 合			6	目標			60		70		100
								ユークル	又直の音	<u> </u>			実績				57		45.000		22.222
			修綽	善費用				総修繕費	費用/#	共用公用車数		F.	<b>⊢</b>	目標	45,000 89,845		45,000 80,129		45,000		30,000
	予	算費目	숙	計			— #	股会計			費目名	z	j	<b>実績</b>	09,0	<del>45</del> 財政		0,129	費		
	直接事業費			ХНІ	平	成	30	年度決	<b></b> 東算	令和		<mark>1  </mark> 年度	—— 決拿	<b>拿</b>	令和	2		 度予算			<u></u>
D			国•	 · 県支出金					0 千円	17 114				· f円	10 114			0 <del>f</del> F			
			;	地方債					) 千円					千円				0 <del>f</del> F			
			<u> </u>	他特定財源	į				0 千円					千円				0 <del>f</del> F	_		
0			_	 -般財源				6,406	6 千円			5,90	7 =	千円			6,	 409			
				計(A)					6 千円		5			千円			6,409 千円		_		
	人件費(B) 全体事業費		正職	員工数・経費	0.3	265	人	1,625	5 千円	0.265	人	1,65	i4 =	千円	0.265		1,	 655	9		
			臨時耶	職員工数・経費	0.	100	귔	199	9 千円	0.100	人	19	9 =	千円	0.100	人		198	<del>-</del> 9		
				4+B)				8,229	9 千円			7,76	0 =	千円			8,	 262	<del>-</del>   9		
	一次	一次評価者				総評価	合点	В	必要	<b>達性</b> 3	有効性	<b>±</b> 4		達成原	隻 3	効型	率性	2 今往	後の方向性	IJ	見状維持
	項目	■				評		価	項	目	の :	锐	り	月(	一次	评価者	のコ	メント	)		
	必要	性市の	iの公用車であり、職員が運転する車両の状態を維持することは必要不可欠なことです。																		
OIL	有効	性 燃	骨向上	ウ上による経費節減や安全対策に有効性が高い事業です。 ・																	
пск	達成	<b>.度</b> 安全	全対策として、ドライブレコーダの設置を進めています。																		
• A C				負担と軽減と経費節減及び点検等の確実な実行において、リースを検討することも不可欠です。 対策として共用公用車にドライブレコーダを順次設置していくことと、公用バスの今後の利用方法についての検討が必要であると考えていま														Note No. 1			
TIO	課	題す。																			
N	計	画め、	後も継続するドライブレコーダーの設置を360度型に変更することを検討するとともに、公用バスについては老朽化への対応や経費、リース及びマイクロバスでの対応について検討を行います。																		
	二次	(評価者	ī	財政課長	Ċ	評価		В	必要	<b>達性</b> 3	有効性	<b>±</b> 4		達成原	隻 3	効率	率性	2 <b>今</b> 1	後の方向性	Ŋ	見状維持
		.次評価 指摘事		重要な役	:割を担 用バス:	旦うこと 2台に・	から、	管理する	る全ては	の公用車	に設置を	急い	でく	ださい	١,				こおける責任の		